

児童養護施設との連携による取組事例〔広島県福山市〕

1. 地域農業の状況

○ 福山市は、広島県の南東部に位置し、周辺を海や川、なだらかな山々に囲まれ、瀬戸内海特有の温暖な気候に恵まれた地域。



○ 主要作物としては、くわい、アスパラガス、ほうれんそう等の野菜やあんずやぶどう、ももといった果物が挙げられる。

○ 担い手不足及び農業従事者の高齢化等により、耕作放棄地が年々増加している。
福山市の耕作放棄地面積は、1,402ha(2010年農林業センサス)となっている。

○ 本件の取り組みが行われた農地は、以前は水田として活用されていたが、所有者の離農に伴い長い間耕作放棄されていた。

耕地面積	2014年	4,010ha
田耕地面積	2014年	2,360ha
畑耕地面積	2014年	1,650ha
総農家数	2010年	8,794戸
自給的農家数	2010年	6,642戸
販売農家数	2010年	2,152戸

資料：耕地面積統計、農林業センサス(農林水産省)

2. 耕作放棄地再生利用の取組

取組主体 下加茂地区耕作放棄地解消協議会

地区名 下加茂(しもがも)地区

再生面積 0.15ha

取組年次 平成23年～

作付作物 そば

販路 高齢者施設に販売

(1)耕作放棄地を再生しようとした契機

○ この地域では、地域住民や農家の高齢化により年々耕作放棄地が増加を続けていた。耕作放棄地になることで、景観の悪化だけではなく、イノシシやシカなどの獣害も現れるようになったため、地区の有志で耕作放棄地の再生を行うこととなった。

○ 解消後は、取組主体による管理のほか児童養護施設の生徒が農作業体験(年2回程度)を行っている。

(2)国交付金と市補助金を活用した再生

○ 福山市では、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国)と併せて、福山市耕作放棄地再生活用モデル事業(市単事業)の活用も可能であることから、2つの事業を併用することで効率的に事業の遂行が可能になった。

○ 具体的には、以下の取組を国交付金・市補助金を併用して実施した。

- ①重機を用いた再生作業
- ②客土工(福祉農園用の作業スペース整備)
- ③擁壁工(既存の擁壁の補修)

再生前



再生中



再生後



活用した支援策

H23 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国)【再生作業(重機)・附帯施設整備】
H23～H25 福山市耕作放棄地再生活用モデル事業(市)